

平成29年度第4回経営協議会議事要旨

日 時	平成30年3月16日（金） 14:30～16:30
場 所	役員会議室
出席者	吉澤 靖之学長、 氏家 純一委員（学外委員）、遠藤 信博委員（学外委員）、 大野 喜久郎委員（学外委員）、北島 義斉委員（学外委員）、 白石 興二郎委員（学外委員）、瀬下 明委員（学外委員）、 福田 誠委員（学外委員）、三澤 正文委員（学外委員）、 烏山 一委員（企画・大学改革・国際展開担当理事）、 田上 順次委員（教育・学生・国際交流担当理事）、 渡邊 守委員（産学官連携・研究展開担当理事）、 田中 雄二郎委員（医療・国際協力担当理事）、 後藤 啓二委員（法務・コンプライアンス・地域貢献担当理事）
欠席者	須田 英明委員（学外委員）、山口 武兼委員（学外委員）
陪席者	大崎 猛監事、春日野 珠恵監事、 木村 彰方特命副学長（研究・評価）、近藤 弘副学長（事務総括）、 田賀 哲也副学長（広報）、谷本 雅男学長補佐（企画・施設）、 遠藤 弘行総務部長、飯田 和彦財務施設部長、 山本 正彦統合教育機構事務部長、下田 弘二学長戦略企画課長、 村松 正明人事課長、福好 秋徳財務企画課長、 高見澤 昭彦病院企画課長

○ 確認事項

1 平成29年度第3回経営協議会議事要旨（案）について

吉澤学長から、平成29年度第3回経営協議会議事要旨（案）について、資料1に基づき確認を行い、原案どおり承認された。

○ 審議事項

1 平成30年度計画について（案）

吉澤学長から、平成30年度計画（案）について審議願いたい旨の提案の後、木

村特命副学長から、資料2-1及び資料2-2に基づき説明があり、審議の結果、平成30年度計画(案)について原案どおり承認された。

なお、最終的な取扱いについては、吉澤学長に一任することとした。

また、遠藤委員から、TMDUライフコース研究コンソーシアムの取組は、一つの会社だけで価値を作るのが難しい現代において、非常に重要な方向性であると発言があった。また、この仕組みを育てるために、情報や人材が可能な限り自由に交流できるようなタイトな関係を構築することが重要であるとともに、外へ情報発信をして、外から色々な意見を取り入れられるようなオープン性も同時に考える必要がある旨の発言があった。

この発言を受けて、渡邊理事及び木村特命副学長から、コンソーシアムにおいては多数の企業と多面的な連携を行い、個々の企業との個別研究テーマについてはコンソーシアムと連動するために創設したオープンイノベーション制度を利用した連携を行っていく旨、また、平成29年度から開始した創生医学コンソーシアムにおいては、海外も含めた企業・大学と連携できるよう、海外で活躍している優秀な若手の人材を教授として招く一方、学内では研究機器を研究支援施設に集中させるなどの体制整備を行っている旨の発言があった。

2 平成30年度学内当初計画について（案）

吉澤学長から、平成30年度学内当初計画(案)について審議願いたい旨の提案の後、福好財務企画課長から、資料3-1から資料3-4に基づき説明があり、審議の結果、平成30年度学内当初計画(案)について原案どおり承認された。

氏家委員から、人件費について、一時的な要因ではなく、今後も増加基調が続くのか質問があった。

この質問を受けて、近藤副学長から、定期昇給等に伴う自然増が主な要因となっており、至急、人件費抑制の対応が必要である旨の発言があった。

遠藤委員から、オペレーションを健全化するためには、収入を増やすか、支出を減らすかの二つしかないが、支出を減らすために人を減らしてサービスが低下するようなことがあってはならないため、人が効率的に働くことが重要であると発言があった。業務の効率化を把握する指標として、業務のデジタル化率は一つの指標となるため、他の大学のそれと比較をしながら、デジタル化の余地を検討・計画して欲しい旨の発言があった。

この発言を受けて、吉澤学長から、業務の効率化について、検討している旨の発言があった。

三澤委員から、ここ数年、歯学部附属病院への運営費交付金の配分が減少して

いる旨、また、運営費交付金の歯学部への中長期の配分計画が見えないため、歯科同窓会として歯学部附属病院の再整備計画を考える場合、再整備の原資を憂慮している旨の発言があった。

この発言を受けて、近藤副学長から、まずは両附属病院の収支を正確に把握するために、運営費交付金の各部局への配分を当初計画時点では留保するとともに、大学全体、医学部附属病院及び歯学部附属病院を区分して予算編成を行った旨の発言があった。さらに、両附属病院の再整備については、一義的には両附属病院それぞれの収入で返済する必要がある旨の発言があった。

また、田中理事から、両附属病院それぞれの財務状況に関わらず、大学附属病院の使命を果たすために必要な投資については予算に組み込んでいる旨の発言があった。

また、瀬下委員から、他大学においても同窓会が大学へ多額の寄附をする事例はあるが、同窓会が大学の経営に介入するのは適切でないのではないかとの発言があった。さらに、吉澤学長から、高所からの発言をお願いしたいとの発言があった。

3 非常勤職員の給与に関する諸規則の改正について(案)

吉澤学長から、非常勤職員の給与に関する諸規則の改正(案)について審議願いたい旨の提案の後、村松人事課長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、非常勤職員の給与に関する諸規則の改正(案)について原案どおり承認された。

福田委員から、ゲート通過による勤務時間管理について提案があった。

この提案を受けて、村松人事課長から、費用面の問題、及びゲートを通過した時間をそのまま労働時間とできるか検討する必要がある、まずは自己申告により勤務時間を管理することとした旨の発言があった。

4 人件費管理に関する方策について(案)

吉澤学長から、人件費管理に関する方策(案)について審議願いたい旨の提案の後、村松人事課長から、資料5に基づき説明があり、審議の結果、人件費管理に関する方策(案)について原案どおり承認された。

瀬下委員から、歯学系で55歳から60歳の教員が多い理由について質問があった。

この質問を受けて、吉澤学長及び田上理事から、歯科については高齢での開業が難しく、関連病院も少ないことが流動性が低い要因である旨、今後は臨床や教育に特化した役割分担を行うなどの改善策を検討する旨の発言があった。

この回答を受けて瀬下委員から、両附属病院を統合することも含めて検討をお

願っているところであるが、能力のある教員については、医と歯という区別をするのではなく全体としての人件費管理を検討してもらいたい旨の発言があった。

福田委員から、アウトソーシングと人員抑制に関するポリシーについての質問、及び本学においては給与計算等、アウトソーシングを進める余地がある旨の発言があった。

この発言を受けて、村松人事課長から、給与の支払いや保険関係業務について業務委託を検討している旨の発言があった。また、吉澤学長から、アウトソーシングで余剰となった人員については、他の必要な部署への配置転換を検討している旨の発言があった。

氏家委員から、教員のアウトソーシングについて、質問があった。

この質問を受けて、田中理事から、教員などのプロフェッショナルのアウトソーシングについては、教養教育で多様性を持たせるために非常勤講師を委嘱している旨の発言があった。

この発言を受けて、氏家委員から、企業ではプロフェッショナルであっても時差を利用して海外へアウトソーシングしている事例がある旨の発言があった。

瀬下委員から、医療分野においては他の業界と同列の人員抑制は馴染まないこと、また医学部附属病院と歯学部附属病院の統合についてはこれまでも指摘してきたように早急に実施すべきであり多角的な視点で、先んじて対応策を検討する必要がある旨の発言があった。

この発言を受けて、田中理事から、統合診療機構を発足して事務の一体化、看護師や臨床検査技師の一括採用を進めている旨の発言があった。

○ 報告事項

1 平成30年度管理・運営体制について

吉澤学長から、平成30年度管理・運営体制について、資料6に基づき説明があった。

2 両附属病院に係るK P I の設定について

田中理事から、両附属病院に係るK P I の設定について、資料7に基づき説明があった。

3 第3期から第6期中期目標期間中の大学全体収支シミュレーションについて

下田学長戦略企画課長から、第3期から第6期中期目標期間中の大学全体収支シミュレーションについて、資料8-1から資料8-3に基づき説明があった。

白石委員から、医療の質を維持し、更には高めながら病院経営を立て直し、運営費交付金に依存しない体質を作っていくためには、アウトソーシングや人件費抑制等の大胆な措置が必要になる旨、また効率だけではなく、他大学と連携して効率化をするなど、適切に効果的に運営していくことが国立大学として必要である旨の発言があった。

さらに白石委員から、歯科が東京医科歯科大学の原点であることは承知しているが、大学全体の実情に合わせた運営費交付金等の学内配分について冷静に検討する必要がある旨の発言があった。

福田委員から、今回のシミュレーションで試算された状況は、東京医科歯科大学の存立如何よりも大きな問題であり、運営費交付金のあり方そのものにかかわる事項であるため、政策当局と早めに協議を始める必要がある旨の発言があった。

氏家委員から、キャッシュフローベースのシミュレーションの作成を検討して欲しい旨の発言があった。

三澤委員から、歯学部を例にすると教育に関する機能を大学が行い、診療に関してはアウトソーシングで対応することも考えられる旨の発言があった。

4 平成30年度学部入学試験の実施状況について

田上理事から、平成30年度学部入学試験の実施状況について、資料9に基づき説明があった。

5 平成30年度経営協議会開催スケジュールについて

吉澤学長から、平成30年度経営協議会開催スケジュールについて、資料10に基づき説明があった。

○その他

1 次回の経営協議会について

吉澤学長から、次回の経営協議会は、平成30年6月25日(月)の開催を予定している旨の発言があった。

最後に、今年度限りで任期満了となる、大野委員から、挨拶があった。

また、吉澤学長から、須田委員も今年度限りで任期満了となる旨の報告があった。

(以上)